

CREATE HOPE in the WORLD



半田南ロータリークラブ ●創立：1980.2.12 ●認証：1980.2.25

■会長／山北 正義 ■幹事／榊原 顕太郎 ■例会／毎週火曜日 半田商工会議所
愛知県半田市銀座本町1の1(半田商工会議所内) TEL.(0569)21-0324 FAX.(0569)23-4546

2023-2024

- 司 会 S.A.A. 永田 明世君
- ソングリーダー 野畑 俊光君
- 国 歌 「君が代」
- ロータリーソング 「奉仕の理想」
- ピアノ 中田美由紀さん

戸田 孝士君 結婚祝いありがとうございます。これからも嫁を大事にします。
合計7名 13,500円

今月の祝賀

- アニバーサリー 前田 晃教君 奥様 絵梨香様
- 山本 慎治君 奥様 幹 子様
- アニバーサリー 戸田 孝士君

会長挨拶 半田南RC会長 山北 正義君

本日の例会は、伊藤亜樹君のZOOM出席により、100%例会です。運転免許証の裏を見ることなど、久しくなかった。①脳死でも心停止でも、死後は提供する。②心停止に限り提供する。③提供しない。臓器提供に関する意思表示である。自筆の署名と、その年月日を記す欄もあることに気付く生き方について考えることと死に方について考えることは、別個のものなのか。あるドナー(臓器提供者)の死は、重い問いかけを世の中に残した。高知赤十字病院で平成11年に行われた、臓器移植法に基づく国内初の脳死判定と臓器提供である。プライバシーの保護と情報公開のはざま、病院に詰めかけたマスコミは殺気立っていた。「こんな報道がされたら、もう二例目はないでしょうね」ドナーの家族の言葉が当時の紙面に残っている。自戒を込めて打ち明ければ、当方は静かな別れを妨げた取材陣の一人だった。大きな輪の中で、その人の死と家族の決断を“待つ”という行為に加わった後ろめたさは今も拭えない。先日、国内で千例目の脳死判定が行われたとの報道に接した。異様な高ぶりの中で取材した一例目を、苦みとともに振り返った次第である。脳死下の臓器移植は、その前段にドナーの死を受け入れるという家族の涙がある。事故であれ病気であれ、誰の身にも脳死は起こりえる。残された家族は急な選択を迫られる。臓器提供という形で死に方に責任を負った千人ものドナーと家族の決断には、それゆえに頭が下がる。移植で引き継がれたのは二つとない命であり、その事実は一例目も千例目も変わらない。この機に、免許証の裏側を見返してみるのもいい。提供を「する・しない」に○をつけて終わりではない。自筆の署名は、誰かの命にも関わる重い誓約だからである。



ロータリー財団寄付表彰



マルチプル・ポール・ハリス・フェロー8回目
メジャードナー認証 鈴木 宏司君

年次総会



次年度会長 蛭川勝己君



次年度副会長 松林信吾君



次年度幹事 前田晃教君



次年度副幹事 野畑俊光君



次年度会長エレクト 杉山知子君



幹事報告

- ① 理事会の報告
- ② 回覧物について

●出席委員会

第2050回例会 12月5日(火) 天気(曇)
本日の例会は出席29名ズーム参加1名の30名の出席にて、出席率は100%です。

●Smiling Box

- 近藤 敏通君 遅刻して申し訳けありません。皆様に御迷惑をお掛けします。
- 山本 慎治君 妻のバースデー祝い有難うございます。
- 蛭川 勝己君 11月26日(火)で、すし処氣楽さんが閉店しました。45年と6ヵ月だった。そうです。半田のすし屋がまた1つなくなりました。
- 山北 正義君 本日、年次総会、宜しくお願ひします。
- 間瀬 貴裕君 昼も夜も休みなく働く人間ダメになって行きますね！クリスマス会に嫁さんと行く事が年内の楽しみです。それでは早退します。すみません。

●次回の例会

第2052回例会 「年末家族例会」
12月23日(土) 於：名古屋マリオットアソシアホテル